

新年会に過去最多の110人参加 コカリナ演奏、男声合唱を楽しむ

関東同窓会の新年会が1月19日夜、千代田区一ツ橋の日本教育会館で開かれた。今年のアトラクションは黒坂黒太郎さん（66期）のコカリナ演奏と「アンサンブルステラ」の男声合唱。新年会としては過去最多の110人が参集し、コカリナの美しい音色とシニア合唱団の力強いハーモニーを楽しんだ。

黒坂さんは日本にコカリナを広めた第1人者。東日本大震災後は全国各地で被災地支援コンサートが続いている。1月7日には黒坂さんの企画で、ウィーンの楽友協会での支援感謝コンサートを開催。石巻市の松で造ったコカリナで被災地の小中学生とともに「浜辺の歌」などを演奏し、大喝采を浴びたという。

新年会では夫人の矢口周美さんがボーカルとオートハープを担当。「木立を抜ける風の音」「ふるさと」「アメージンググレイス」などの演奏が終わると、大きな拍手が会場に鳴り響いた。

西東京市を活動拠点とするアンサンブルステラには代表の倉島彰さん（54期）ら上田高校同窓生5人が参加。「みすずかる」「地球をセーリング」などの曲を披露した後、参加者全員で「ふるさと」を歌った。

この後、立食形式の懇親会に入り、参加者がグラスを傾けて歓談。7月の総会で実行委員を務める65期、70期の代表が登壇し、宮原豊実行委員長（65期）が総会の成功に向け決意表明した。



コカリナ演奏の黒坂夫妻



アンサンブルステラの合唱



過去最多の懇親会



総会実行委員長の決意表明